

3 快適な生活環境づくり

ゆとりと潤いのある生活、私たちが心豊かに生活するうえで基本となる、快適な生活環境づくりを推進するため、次のような施策を展開していきます。

まず、水道事業については、より安心で安全な飲料水の供給に取り組みますが、共同水源等を利用した未普及地域においては、近年の水不足や水質の悪化などによる、生活への支障が懸念されており、早急な対策が必要であると考えています。

水道事業の拡張計画や小規模水道施設補助金など、関連事業を考慮しながら、均等あるサービスの提供を図るよう、普及の推進に取り組んでいきます。本市南部の水源確保については、路木ダムの早期完成に向けて、県と連携しながら推進していきます。

次に、市民の健康増進の関連では、「天草市健康増進計画」や「天草市食育推進計画」

に基づき、「運動」「食改善」「健診」をリンクした保健事業を展開していきます。また、「特定健診・特定保健指導」については、未受診の人への周知・啓発に取り組み受診者数の拡



▲重要文化的景観指定に取り組む「崎津教会と漁村景観」

大に努め、生活習慣改善のための支援を早期に実施していきます。また、人間ドック・各種がん健診への補助や健康教育・健康指導などの事業を通じて、疾病の発症や重症化を予防し、市民の健康増進と医療費の節約につながるよう取り組んでいきます。

乳幼児医療費助成制度では、子どもたちの健全育成や子育て支援の充実のために、名称を「子ども医療費助成事業」と改め、医療費の無料化の範囲を小学校3年生までに拡大し、保護者負担の軽減を図ります。また、子どもたちの発達支援を目的とした5歳児健診を開始し、健診時に保護者からの子育てに関する悩みや相談事をおうかがいし、不安

解消の手助けにつなげたいと考えています。市立4病院については、病院事業の経営形態を本年4月から地方公営企業法の全部適用へ移行し、「安定した経営基盤の確立」と「安心・安全の医療提供」を旨として新たなスタートを切りました。

また、本年1月から平成25年度末までの期間を対象とした「熊本県地域医療再生計画」では、天草医療圏をモデルとした医師確保対策が盛り込まれているので、医療体制向上のため、県や関係医療機関などの協議や連携を図りながら取り組んでいきます。

福祉では、地域福祉の推進を図るため、身近な福祉課題、生活課題を地域全体で共有し、解決できるように、町内会、ボランティア、福祉関連施設・事業所などに至るまでの地域見守りネットワークを構築していきたいと考えています。

- 乳児家庭全戸訪問事業 [子育てへの不安を取り除くため、生後4カ月を迎えるすべての乳児のいる家庭を訪問する].....464万円
- (仮称)子ども未来センター設置調査事業 [子ども未来センターを設置するために先進地の状況を調査する].....50万円
- 子ども医療費 [小学校1～3年生までの子どもが医療機関で受診した際に支払う負担金の全額を助成する].....3,212万円
- 崎津地区街なみ環境整備事業 [崎津地区における住環境の現況調査や整備方針の策定などを行う].....1,232万円

また、地域の要援護者・地域支援者、避難所、危険地域、集会所、医療機関などを記入した、住民支え合いマップ」あ

4 地域を担う人づくり

関する相談窓口を明確にし、専門的で適切な支援、行政サービスを受けることができる体制を構築するため、子育て支援の中枢となる「(仮称)子ども未来センター」の設置に向け、現状の把握、分析に取り組みしていきます。

防災については、今回、「天草市防災マップ」を作成し、「市政だより」(6月1日号)といっしょに全世帯に配付しました。今後も、自主防災組織の育成支援や消防関係資機材の整備、防火水槽や消火栓の設置を進め、地域消防力の維持に努めるとともに、地域における災害への備えを強化し、安心・安全なまちづくりを推進していきます。

文化振興では、世界遺産登録を推進するために、関係機関・団体と連携をとりながら、崎津教会と漁村景観については本年、大江教会と農村景観については平成23年に重要文化的景観指定への申し出を行うとともに、長崎県と連携しながら、県内初の世界遺産の登録を目ざして、重点的に取り組みを進めていきます。

- NPO支援事業 [NPO等に対する理解を深めるため、セミナーや講演会などを開催する].....27万円
- 楠浦・牛深小学校改築事業 [児童の安全を確保するため、耐震性能が低い不適格校舎の改築を行う。また、老朽化した校舎を改築し、学校統廃合計画を促進する].....4億6,679万円
- (仮称)五和中学校建設事業 [耐震性能が低い五和東・西中学校を統合し、新統合中学校を建設する].....1億3,920万円
- ふるさと体験事業 [小学3・4年生の児童が、天草市の伝統・文化・自然・歴史などとふれあう体験活動を授業の中に取り入れる].....164万円

地域づくりの基本は、郷土意識を持ち、地域資源をいかにしながら主体的に地域づくり活動に取り組んでいただくことが重要です。「まちづくり協議会」と「地区振興会」が誕生し、5年目を迎えますが、各地域で健康づくりや子育て支援、地場農産品の加工販売やまち歩きの実施など、住民主体の地域づくりが着々と進められています。住民自治組織のさらなる強化を図るため、座学や実務研修、まちづくり講演会などを実施し、地域リーダーの育成や地域活動

を支援するコミュニティ主事の資質向上も図っていきます。各地区振興会では、現在の地区の将来像を示す「地区振興計画」の策定作業が進められているので、新たな財政支援制度を立ち上げ、その実現を支援していきます。

教育関連では、学校教育においては、学校訪問指導の計画的な実施や、研究指定校としての研究成果の全学校への普及などにより、確かな学力の向上に向けた支援を行うとともに、学習指導補助教員や学校司書を継続して配置することにより、きめこまやかな指導の充実、児童・生徒の読書活動の推進をさらに図っていきます。いじめや不登校問題に対しては、天草市教育相談事業を中心とした取り組みの充実を図り、教育指導アドバイザーや教育相談カウンセラーによる適切な指導や支援を実施していきます。



▲平成23年4月開校予定の楠浦小学校 (イメージ図)

また、小学校3・4年生を対象に、天草の伝統・文化・自然・歴史などとふれあう体験活動を充実し、ふるさとを再発見する「ふるさと体験事業」を新たに実施していきます。

学校規模の適正化については、「天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画」に基づき、保護者や地域の皆様のご理解を得ながら、学校の適正配置を進め、教育効果の向上と教育環境の整備を図っていきます。

学校施設については、耐震化対策に重点を置き、特色ある教育活動が展開しやすい環